

全道の国語教育研究組織の動向 (順不同)

地区	研究団体名／代表者	研究内容・研究主題等	活動内容等
旭川	旭川市教育研究会 国語部 国語部長 神林 宏行 (旭川市・緑が丘中) 研究部長 吉峯浩二郎 (旭川市・光陽中)	「活用型」の学びを通して言葉を深め広げる国語科授業の構築	平成22年度の活動 ・小学校4、中学校5の領域別委員会に分かれ、委員会毎にテーマを設定し、研究を進めている。 ・国語部総会、領域委員会 4/13(火) ・研究集会 10/19(火) 9:00～ ・領域毎の研究授業や討議を年間5~6回行っている。 ・会員数 小学校121名 中学校69名 ・年会費 1,700円
函館 小学校	函館市小学校国語教育研究会 会長 藤川 隆 (函館市・八幡小長)	生き生きとした言語活動を通して、確かな国語の力をはぐくむ授業の創造	平成22年度の活動 ・会員数 83名 ・10月22日の全道大会にむけて「話す聞く」「書く」「読む」「言語事項」(伝統的言語文化、書写)の4領域、8部会に分かれて研究を深めている。 5月 総会 6-7月 各部による授業研究の実施 7月 大会要項取りまとめ 学習指導案検討 8月 夏季学習会 9月 全道大会準備 10月 第65回全道国語教育研究大会 函館大会 12月 各部研究のまとめ 1月 冬季学習会 3月 「国語教育」「文集」発行
函館 中学校	函館市中学校国語教育研究会 会長 青木 昌史 (函館市・桔梗中長) 幹事長 後藤 昌樹 (函館市・五稜中) 研究部長 長谷川敦也 (函館市・港中)	生き生きとした言語活動を通して、確かな国語の力をはぐくむ授業の創造	平成22年度の活動 ・会員数 50名 4月 総会 5月 全体計画 各部会の協議 6月 例会 各部会の研究計画の確認 各部会の研究授業 7月 例会 各部会の指導案検討 各部会の研究授業 8月 夏季学習会 全道研に向けた研修 9月 各部会の研究授業 10月 例会 全道研の準備 第65回北海道国語教育研究大会 函館大会 11月 例会 全道研の反省 1月 冬季学習会 2月 「国語教育」原稿集約 3月 「国語教育」発行

地 区	研究団体名／ 代表者	研究内容・研究主題 等	活 動 内 容 等
釧 路	<p>釧路国語教育研究会</p> <p>会長 吉田 和夫 (浜中町・浜中小長)</p> <p>事務局長 松岡 伸之 (浜中町・榊町小頭)</p> <p>研究部長 大月さゆり (釧路市・附属小)</p>	<p>「新しい時代の国語教育の要請に応える教育者として、資質向上と会員相互の交流を図ることを目的とする。」と謳う本会の目的に沿って、日常の実践交流をはじめとした実践的な内容を大事にしながら研鑽を積んでいる。例年行われている夏季・冬季研修会は、会員に限らず釧路管内全校の先生方に参加を呼びかけ、仲間づくり・新規会員の加入促進にも力を入れている。</p>	<p>平成22年度の活動（予定を含む）</p> <p><u>5月22日（土）平成22年度定期総会・講演会・懇親会（於 アクアベール釧路）</u></p> <p>○教育講演会：講師 北海道教育庁釧路教育局義務教育指導班 指導主事 二階 美幸 氏</p> <p><u>8月28日（土）予定 平成22年度夏季研修会</u></p> <p>○釧路市立共栄小学校を会場に実践的な指導交流・研修を実施予定。小・中それぞれ4つの領域に分かれ、新学習指導要領の趣旨を確認した上で、実践交流や言語活動を取り入れた単元づくりの在り方についてなどを話し合う予定。</p> <p><u>10月22日（金）第65回北海道国語教育研究大会函館大会への積極的参加</u></p> <p><u>1月中（日程は未定）平成22年度冬季研修会</u></p> <p>○例年、教育講演会・懇親会（勇退者がある場合は激励会を兼ねる）等を実施。教育講演会については、北海道国語教育連盟役員の方に御講演頂く年もある。</p> <p>※会員数 釧路市内および管内小中学校教員および本会の趣旨に賛同する者 125名(平成22年5月現在)</p> <p>※会 費 2,000円</p> <p>※研究部会および事務局会議を、夏季・冬季研修会前後を中心に年間で7～8回程度開催</p> <p>※広報部発行の会報「ひこばえ」を年間4号程度発行</p>
小樽	<p>小樽市中学校国語教育研究会</p> <p>会長 黒川 裕之 (小樽市・朝里中頭)</p>	<p>現在テーマの設定はありません</p>	<p>平成22年度の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小樽市教育研究会国語部会との連携による講師・助言者の派遣。 ・公開授業交流活動

地 区	研究団体名／ 代表者	研究内容・研究主題 等	活 動 内 容 等
十勝	<p>十勝国語教育研究 サークル</p> <p>会長 今本 明 (芽室町・芽室西中) 事務局 新川 宏子 (幕別町・札内南小)</p>	『言葉の力を生きる力へ』 ～より良く言語化できる 力を育む楽しい授業の創 造～	<p>平成22年度の活動</p> <p>本サークルは現場の先生方を中心とする約70名の教職員で構成されています。教材解釈や指導の手立てなどを熱く語りあい、一つの指導や手法に拘らない様々な考えをぶつけ合います。現在、諸先輩方が築いてきた歴史と伝統の活動を大切にしながら、平成24年度北海道国語教育大会十勝・帯広大会の研究母体として取り組んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第37回小学校授業研究会 土幌町中土幌小学校 ・第21回中学校授業研究会 本別中学校、鹿追中 ・第40回合同サークル研究会 更別小・更別中学校 ・第48回一泊研修会 23年1月予定 ・第9回相澤塾 23年2月予定 ・各種自主公開授業
留 萌	<p>留萌地方国語教育 研究会</p> <p>会長 堀井 武道 (小平町・小平小長) 事務局長 長尾 真 (留萌市・留萌中頭)</p>	「確かで豊かな言葉の力 を身に付け、思いを伝え 合う授業の創造」	<p>平成22年度の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践交流研修会 初山別延大会 10/22(金) ・国語教育研究会 天塩大会 11/8(月) ・会員数 留萌管内小中学校教員 50名 ・年会費 2,000円 ・会報 年3回発行 ・実践記録集を毎年年度末に発行 ・実践交流会は毎年、研究大会は隔年で開催している。
空 知	<p>空知国語教育 研究会</p> <p>会長 松井 牧子 (三笠市・幾春別小長) 事務局長 菅原 寿一 (滝川市・開西中)</p>	基礎基本の力を高める国 語科授業の創造	<p>平成22年度の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月22日(火)事務局会議 (本年度の体制と活動内容の確認) ・6月2日(水)第1回全体役員会 (本年度の事業計画決定) ・8月9日(月)夏季研修会 (実践交流・公開授業指導案検討) ・10月8日(金)公開授業研究会 (三笠市立幾春別小学校) 公開授業・研究討議・講演 (札幌大谷大学特任教授 中西 信行氏) ・12月27日(月)冬季研修会 ・平成26年度の全道大会実施に向けての体制構築を進めている ・会費 年間 1,000円

地区	研究団体名／代表者	研究内容・研究主題等	活動内容等
札幌 小学校	札幌市教育研究推進事業 小学校国語 主任顧問 船山 純 (札幌市・米里小長) 副主任顧問 嶋田 肇 (札幌市・中の島小長) 研究推進幹事代表 吉田 典史 (札幌市・山の手小)	10 の行政区ごとに研究主題を設定し、授業研究を進めている。	平成22年の活動 ・全市研究集会、公開授業 6/22(火) ・実践研究日、公開授業 10/12(火) ・公開授業に関連した指導案検討などの研究推進会議を年間10回程度行っている。 小中合同学習会の開催 ・連盟小中学部が連携し、全道の国語科教諭を対象に、研究交流学習会を企画している。8月9日の学習会では新学習指導要領に対応した研究発表と文科省調査官の講演という内容で実施し、全道各地から約150名の参加者を得ている。
札幌 中学校	札幌市教育研究推進事業 中学校国語 主任顧問 競 和之 (札幌市・米里中長) 研究推進幹事代表 金田 昭孝 (札幌市・向陵中)	基底研究主題 ・「〈対話〉を通し、考えを深め、言葉の力を高める授業の研究」 上記の「基底研究主題」に基づいた研究(3ヶ年継続研究)の3年次 10 の行政区ごとに、基底研究主題を基に研究主題を設定し、授業研究を進めている。	平成22年度の活動 ・拡大研究推進会議 5/18(火) 今年度の研究推進について ・各区研究推進会議 6月中 今年度の地区の研究について ・全市研究集会 6/22(火) 14:00～ 全市集会后、各区毎に集会 ・拡大研究推進会議 7/13(火) 各区の状況の交流 ・各区研究推進会議 7～10月数回 公開授業の指導案検討等 ・実践研究日 10/12(火) 13:30～ 公開授業 授業を中心にした討議、各校の実践交流 ・拡大研究推進会議 11月16日(火) 「研究成果報告書」の作成 *「研究成果報告書」は、札幌市教育センターのHPに公開されている ・会員数 札幌市内の中学校国語科教員 325名 ・年会費 無し ・懇親会を年数回開催 国語人の集い(10月の実践研究日) 退職される先生を囲む会(2月上旬)
渡島	渡島国語教育研究会 会長 大澤 敏弘 (七飯町・大中山中長) 幹事長 片平 美和 (北斗市・茂辺地中)	「教材研究を生かした発問づくり」 ~授業を構築するための発問の工夫~	平成22年度の活動 ・総会、定例学習会(研究テーマ) 5/7(金) ・夏季学習会 8/21(土) ・渡島教育研究集会 11/19(金) ・冬季学習会 1月下旬 ・会員数 48名 ・年会費 1,000円

地 区	研究団体名／ 代表者	研究内容・研究主題 等	活 動 内 容 等
石 狩 小学校	石狩管内教育研究会 国語（小）部会 部長 藤井 康博 （恵庭市・島松小） 事務局長 大泉ちがや （千歳市・信濃小）	「すぐれた日本語の担い手を育成するために、確かで豊かな国語の力を育む授業の創造」 ～「読むこと」「書くこと」領域の研究を軸とした実践を通して～	平成22年度の活動 ・会員数 212名 ・実技研修会 8月19日(木)23日(月) 書写の指導法実技研修会 講師：石川芳昭氏（西当別小） 田中博之氏（桜木小） ;石教研二次集会:10月22日(金)千歳市中心サークル（千歳市）での授業・提言、各市町村サークルの提言交流
石 狩 中学校	石狩管内教育研究会 国語（中）部会 部長 田辺 浩子 （江別市・大麻中） 事務局長 富士原孝浩 （北広島市・西部中）	伝え合い、高め合う授業の創造～「伝えたい」思いを引き出す言語活動の工夫を通して～	平成22年度の活動 ・会員数 116名 ・理論研修会 6/21（月） 講師 田中 幹也氏（北海道教育研究所企画研修部） ・石教研二次集会 10/22（金） 江別市研究授業（話す聞く、書く、読む 各1本） レポート交流、教材研究交流 ・実技研修会（11月）管内教師を講師とした研修 ・生活体験発表会 10/26(火)千歳北斗中 ・文集「石狩の子」発刊（2月） ・ホームページの開設 ・他 各市町村単位の研究交流
檜 山	檜山管内小中学校 国語教育研究会 会長 白川 清久 （せたな町・平田内小長） 事務局長 石澤 修介 （せたな町・久遠小頭）	「豊かなかわりあいから、生きて働く国語の力を育む授業の創造」 ～「話すこと聞くこと」領域を通して～	平成22年度の活動 （1）第65回北海道国語教育研究大会 函館大会の開催（共催） ①期日 平成22年10月22日（金） （2）檜山管内国語教育研究大会 ①期日 平成22年12月3日（金） ②場所 今金町立今金中学校 ③内容 公開授業、研究討議等 （3）会員の研修 ①夏季学習会（8月17日）提言内容の検討等 ・冬季学習会（1月）実践研究 ・研究集録の発行（平成22年3月）

地 区	研究団体名／ 代表者	研究内容・研究主題	活 動 内 容 等
網 走	網走国語教育研究会 会長 三谷 一行 (北見市・北光小長) 事務局長 潮田 信 (遠軽市・瀬戸瀬小)	第 63 回北海道国語教育研究大会北見大会での熱意、成果と課題を今後につなげる研究推進と運営推進に努める	平成 2 2 年度の活動 ・総会 5/22 (火) ・第 32 回網走国語教育研究会・研究大会 9 月～12 月 小・中授業公開 ・宿泊研修 1 月 28 日 (金) 授業公開、研究協議、講話、懇親会 ・ミニ網国研 ・研究集録の発行
胆振・ 苫小牧	苫小牧市教育研究会 国語部会 部会長 野崎 均 (苫小牧市・勇払中頭) 副部会長 寺田 洋子 (苫小牧市・明野小長)	国語授業の改善と深まりを目指す実践研究～児童・生徒の感性を耕し、学習意欲を掘り起こす授業づくりを通して～	平成 2 2 年度の活動 4 月 年間活動計画作成 5・7・9・10 月 実践交流・教材研究・授業案づくり 11 月 研究大会公開授業 (小学校 1 本・中学校 1 本) 小中合同研究会 12 月 反省 1 月～3 月 「苫小牧の子ども作文集 48 号」編集及び発行 会員 市内教職員小学校 28 名中学校 15 名 計 43 名 苫小牧教育研究会のテーマを具現化するため、今年度の重点を『子どもの学習意欲を引き出し、「伝え合う力」につながる、国語力をいかにして育むか』と設定して、授業作りを中心にした研究が進められます。 11 月研究大会日は小中別に公開授業を設け、互いに参観し合い、会員全員で協議を行います。毎年参加者は、力量を高め、小中連携を視点においた話し合いも深めることができます。
根 室	根室管内国語研究会 会長 上原 哲朗 (根室市・落石中長) 事務局長 原田 晶子 (根室市・花咲小)	「国語の授業がうまくなりたい」「国語の勉強がしたい」という先生方の期待に応えられるよう、基本に返って学ぶ研究会とする	平成 2 2 年度の活動 ・6 月 11 日 (金) 平成 22 年度総会 (役員選出) および第 1 回研修会 授業者～中村香奈恵教諭 (花咲小学校) ・10 月 14 日 (木) 第 2 回研修会 *当初は授業研修を予定していたが、教育局との連携でディベロップセミナーに変更 ・12 月 3 日 (金) 第 3 回研修会 花咲小学校実践発表会に参加

☆掲載は順不同です。

☆代表者のお名前前の敬称を省略しておりますが、ご了承ください。